

「普通」ということ

吉田 みどり

私が産まれた時、すでに母は聴覚障害、兄は自閉症、健常の姉が二人と兄が一人。その後、弟が二人産まれましたが、それぞれ知的障害や発達障害を持っていました。両親と子供が七人で合計九人。それだけなら賑やかでいいねで終わります。でも、「障害」が入ると・・・。

私が幼い頃は、まだまだ「障害」に対する偏見が強く、皆で出かけるとジロジロ見られたり、「大変ね。」とか「かわいそうに・・・。」と言われることがありました。

兄弟たちの奇声や母の子育てに対して「あの家で虐待がある。」と通報されたこともあったと聞いています。

私の母は、聴覚障害者でしたが、「手話」や「口話」を学ぶ機会がなく、家庭内での会話は、手のひらに文字を書いて伝える。ほぼ一方的な会話でした。淋しい想いも、たくさ

んの子育ても苦勞したことと思います。その為か、母は一人で外出せず、買い物や兄弟たちの送迎は、姉たちと私の仕事でした。両手で兄、弟の手をつないで歩く。世間の目は、とても冷たいもので、ジロジロ見られたり、明らかに避けられたり「邪魔だ、端っこ歩け。」と言われたこともあります。でも、これが私の「普通」だったのです。ところが、小学校に入学後、初めて友達の家遊びに行つた時、とても衝撃を受けました。そこは、テレビドラマだけの世界だと思つていた光景でした。友達だけの部屋、勉強机、ベッド、ピンクのカーテン。おやつに「パンケーキとジュース」とても静かで穏やかな日常。うらやましかつた。

その後、弟たちが同じ小学校の特殊学級に通うようになる、からかわれたり、何より友達のお母さんから「障害が移るから一緒に遊ぶのをやめて」と言われてしまいました。

私は、私の家は「普通」ではないのだと気が

付きました。でも、「かわいそう」でも「大変」でも、「病気」でもない。同じ人間として産まれて、なぜ、ジロジロと見られるのか。なぜ、これ以上苦しむ必要があるのか、全く分かりませんでした。だから、自分の身を守る為に嘘をつき始めました。家族は五人。私と両親と姉が二人だと・・・。

小学校五年生の頃、やっと「障害」に対する偏見がやわらぎ、母と一緒に「手話」講座に通い始めました。そこは、ろう者が生き生きしていて、「障害」がある人が「普通」。聴こえる私は生徒。

それまで家に引きこもり気味だった母は、「手話」と出会って、友達もできて、一人で外出することも増えてきました。

私も講座やろう者の中では「普通」で居られたけど・・・やはり嘘だらけの生活をしていました。

そして、中学、高校と反抗期に入り、早くこの「障害」から離れたい。「普通」の生活

をした。それだけを考えていました。嘘だらけの自分が嫌い、友達ともうまくつき合えなくなっていました。

二十二才の頃、主人に出会って、逃げる様に「熊本」に。これでやっと「普通」の生活ができる。私の事を知らない、「障害」とは関係のない世界に行けると思っていました。でも・・・甘かった。

母や兄弟の「障害」を知った義両親から、何かあるたびに、「常識がない」「親に障害があるから躰ができていない」と言われる。長男を出産した時は、「おめでとう」ではなく、「障害はないか、身体は無事か」。仕方がないと思いつつも、やはり「障害」からは逃げられないのだと悟りました。幸いなことに、長男、次男ともに「障害」は、ありませんでした。・・・

それから、しばらくしてハンセン病患者様の療養所で働く機会に恵まれました。そこはスーパ―、郵便局、病院、寺院などがあり、

小さな町でした。ここは、ハンセン病患者者様だけの世界が「普通」で、私は別者。それでも、皆さまが優しく、ジロジロ見る事も、冷たい言葉もない。化粧品の販売をしていた私に、「あんたはきれいかあー。うらやましかあー。」と言われ、あっと気付きました。「障害」と言うだけで、特別ではない。「障害」とは社会が都合よくつけた名称。

「障害」は「個性」。ハンセン病患者様もきれいになりたい気持ちは同じ。みんな、「障害」を持つ兄弟を含め、みんな同じ事を考えて、同じ気持ち、同じ心を持っている。その気持ち、その心を伝えるのに、飛びはねたり、大声を出したり、走ってみたり・・・。

「手話」があり、「点字」がある。「特別」じゃない。ほんの少しだけ助けが必要なだけ。「普通」なんて、本当はどこにもない。「普通」は、その時その場でどんどん変化していくもの。だから、私は、皆は、そのままでいい。人からどう見られても、それは「

個性」なのだから。何もない人より、よほど	いい。それが「普通」なのだから。	私は今、再び「手話」を学んでいます。ろ	う者の友達も出来て、一緒に旅行や買い物	楽しんでいきます。もちろん、堂々と「手話」	で会話します。兄弟たちとも、もう見た目は	おじさんですが、すっかり手をつないで、い	ろんな所に、堂々と出かけています。もう、	ジロジロとみられてもかまわない。これが、	私なりの「普通」の生活なのだから。
----------------------	------------------	---------------------	---------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-------------------

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--